

集成騎兵ハ本日午前一・〇〇頃敵ノ敗残兵約三千ト衝突天明頃迄ニ擊退、我死傷七〇、馬ノ損害二〇四、敵ノ遺棄死体ハ七百ヲ下ラス鹵獲獲品多数トノ報アリ。

軍司令部護衛ノ為9 Dニ歩一六ヲ要求シタルトコロ19 i全部山砲一大隊ヲ派遣ストノコトニテ夕刻過一部到着セル筈。

孟塘ノ照空隊全滅シタルガ如キモ詳細不明(電話ニテ襲撃サレタルヲ報告シ終ニ天皇陛下方歲ト言ヒ電話ヲ切りタリト伝フ)。

△欄外▽歩一分隊ヲ午後増加セリ。

司令部北側高地ニ於ケル二回ノ戦闘ニテ戦死一(准尉)△欄外注・誤リ戦死二十名許▽負傷十四。

南京攻略後各兵団ニ南京及其附近ニ集結スヘキ命令ヲ下サル。

列車ハ機関車一、3、4等客車各二、有蓋貨車七、無蓋十三ニテ大型不時着飛行機一工兵学校附近ニ在リト。

◇十二月十四日 快晴

照空隊全滅ノ報ハ果シテ虚報、若干ノ死傷アリタルニ過キス。但昨日ノ司令部附近ノ戦闘ニ於ケル我死傷ハ戦死准尉二其他十名許 負傷中隊長一少尉二其他二十名弱ナリ。

本朝尚其残敵五百司令部東北側ニ在ルヲ知り19 i主力ヲ以テ全ク包囲投降セシメツ、アリ。

13 Dノ山田支隊ハ途中約千ノ敗残兵ヲ掃蕩シ四・三〇烏菴山砲台占領、高射砲及重砲十余門ヲ鹵獲セリ。

支那船五ヲ爆沈セリト思惟セシ内四隻ハ米國砲艦ナリシト艦隊長官我司令官ニ抗議ヲ申込レタリト 尚英船一モ砲撃ニ依リ撃沈サレタリト言フ。

戦車大隊麒麟門附近通過ノ時敵五百許リ南下スルニ会シ通信兵等ヲ指揮シ掃蕩セリ。又南京東方地区ヨリ約一千宛ノ捕虜二群下関方向ニ移シアルヲ飛行機ニテ視タリト。

下関ニ於テ独工一ハ機関車三、客車六、貨車三十八ヲ鹵獲ス 完全ナリ。

三・〇〇頃佐々木支隊ノ一中隊ハ南京東北方ニ於テ約二万ヲ捕虜トセリト。又別ニ四列側面縱隊ニテ長径八詰ニ亘ル捕虜ヲ南京城北側ニ向ヒ護送シアルヲ飛行機ニテ視認セリトノ報告アリ。

方面軍參謀長ヨリ電話ニテ十七日入城式ヲ為ス考ニテ掃蕩セラレタキ希望アリシモ当軍トシテハ殿下ノ御意図ニ依リ無理ヲセサル如ク掃蕩中ニテ現況ニテハ十七日ハ不可能ナル旨返答セリ。

天谷支隊ハ午後二・〇〇揚州南門占領、数百ノ敵ハ東、北、西ノ各方面ニ退却中。山田旅団ハ午前一一・〇〇幕府山砲台ヲ占領セリ。

19 iハ軍司令部附近ノ掃蕩ヲ終リ(百数十名ヲ掃滅ス)明十五日一大隊ト戦車一中隊ヲ残シ掃蕩セシメラル。

\*人見大佐掃蕩ヲ終リ帰ルニ方リ拜謁、賜物アリ。

◇十二月十五日 霧深シ 快晴

概ネ杭州、蕪湖、揚子江右岸地区ノ安定確保

一部ノ兵力ヲ大本營ノ使用ニ供シ得ルコト

航空隊ヲ以テスル要地ノ爆撃

101 Dヲ以テ上海警備(方面軍直轄)

南翔(含ム)以西ヲ派遣軍

方面軍參謀長來部ノ話シ

以上ノ件及方面軍カ入城式ヲ十七日ト主張シアリ 軍トシテハ早クモ十八日ヲ希望ノ旨申上ク。

殿下ハ入城式ニ就テハ無理ヲセヌコト、外国人ニ対シ入城式ノ日時ヲ知ラセサルコト、防空ヲ十分ニスヘキコトヲ注意セラル。

山田支隊ハ歩兵第百三旅団基幹長少將 山田栴二<sup>キハタ</sup>18期(歩百四・歩六五)

歩兵第十九聯隊長 人見秀三<sup>ヒトミ</sup>23期(敦賀)

野戦建築部長木崎主計大佐来部今回方面軍直轄トナル。

山田支隊ノ俘虜東部上元門附近ニ一万五、六千アリ 尚増加ノ見込ト、依テ取り敢ヘス16Dニ接收セシム。

四・〇〇頃松井方面軍司令官湯水鎮着、殿下ニ代リ報告ニ行ク。此時入城式ハ十七日ニ決定サレタ旨聞ク。

13Dノ状況、本日二・〇〇頃先頭ノ58i主力ハ揚州西方ヲ前進中、第二梯団ハ揚州ニ入ラントスルトコロ、第三梯団ハ渡江ヲ終リ前進中、師団司令部ハ明日渡江、(電話本日開通)

六合占領部隊58iノ一大 山砲一中基幹ハ明日小発二十ニテ出発明日午後六・三〇「クリーク」入口ニ到着「クリーク」ヲ六合ニ向フ予定。山田旅団(三大基幹)ハ十九日南京ニテ渡江。

長参謀16Dト連絡シタ結果同師団ニテハ掃蕩ノ關係上入城式ハ二十日以後ニセラレタキ申出アリト重ネテ方面軍ニ事情ヲ説明セシム。(3D、兵キ、軍イ、獣イ部長天王寺附近ニテ約五百

ノ敗残兵ニ襲ハレ安否不明トカ。草場少将紫金山ニ登リタル時「トチカ」内ヨリ残敵出テ来リタルトカノ事例アリ)。尚一〇・三〇過方面軍参謀長ヲ訪ヒ話シタルモ頑トシテ変更ノ意思ナシ。

◇十二月十六日 晴天

\*原田少将来リ南京ノ特務機関兼宣撫ノ為佐方少佐ヲ置クト。

午後一・〇〇出発入城式場ヲ一通リ巡視三・三〇頃帰ル。多少懸念モアリ、長中佐ノ帰來報告ニ依ルモ16D参謀長ハ責任ヲ持テ得ストマテ言ヒ居ル由ナルモ既ニ命令セラレ再三申スルモ聴カレス、且断乎トシテ参加ヲ拒絶スル程トモ考ヘラレサルヲ以テ結局要心シツ御伴スル

コトニ決ス。夜復殿下ニ召サレ今迄ノ死傷數ノ調査ヲ命セラレタル以外ハ所謂雜談ニ時ヲ過ス、毎度光榮ニ感スルノミナラス常ニ多クノ教訓ヲ受ク。

\*北島参謀揚州飛行場ニ着陸天谷支隊及13Dト連絡ス何レモ無難ニ順調ニ進捗シアリ。揚州飛

行場ハ城ノ西北側ニ在リ九〇〇ト七〇〇以平坦。長中佐夜再ヒ来リ16Dハ掃蕩ニ困惑シアリ、3Dヲモ掃蕩ニ使用シ南京附近ヲ徹底的ニヤル必要アリト建言ス。

◇十二月十七日 快晴、夜風強シ

松田海軍参謀ノ報告、十一戦隊(近藤少将)ハ十三日其大部ヲ以テ南京下流ニ到着、敵ノ筏ニ依テ退却スル者約一万ヲ撃滅ス、南京下流ノ閉塞ハ幅約三五〇以ノ水路空キアリ又機雷ナシ。靖江下流ノ視察所ハ陸海軍協同シテ占領一昨日掃海ヲ終レリ。運送船ハ既ニ昨日鎮江ニ来レリ、南京モ荷役棧橋破壊サレアルモ二十日頃迄ニハ修繕シテ使用シ得ルニ至ルヘシ。

本日ノ入城式ニハ附近飛行場ヲ爆撃シタル後六、七十機ニテ空中守備状態ニ入りタル場合ノ軍命令ヲ下サル。

午後一・三〇ヨリ入城式、特ニ暖キ快晴実ニ麗ラカニ終了ス。代表部隊ノ堵列閱兵、国民政府ニ於ケル国旗掲揚式、遙拜式、万歳三唱、御賜ノ御酒ニテ乾盃、海軍司令長官ノ発声ニテ万歳三唱。午後三・三〇頃帰ル、先ツ第一日ノ無事ニ済ミタルヲ喜ブ。

芳村参謀ヨリ天谷支隊及13D主力ノ渡江ニ関スル件ノ報告ヲ受ク。南京ノ獲物ハ相当ニアルヲシキモ未ダ調査十分ナラス「ガソリン」ドラム缶五〇〇ヲ見ツケタトノコトヲ本日聞ク。

夕食ニハ殿下ノ台臨ヲ仰キ祝盃ヲ挙ク、其最後ニ殿下ノ御思召ニ依リ戦没将士ノ英靈ニ黙禱ヲ捧ク。堵列部隊カ或ハ戦死者ノ位牌ヲ奉シ或ハ遺骨ヲ胸ニ下ケタルコト、国民政府ノ旗竿ニ大日章旗ヲ掲揚シタルコト、夕食ノ際「此処ハ御国ヲ何百里」ノ軍歌ヲ聞キタルトキ自然ニ涙ノ落ツルヲ禁スル能ハサリキ。

今日迄判明セルトコロニ依レバ南京附近ニ在リシ敵ハ約二〇〇師一〇万人ニシテ派遣軍各師団ノ撃滅シタル數ハ約五万、海軍及第十軍ノ撃滅シタル數約三万、約二万ハ散乱シタルモノ如キモ今後尚撃滅數増加ノ見込。鹵獲品ハ相当多數ノ見込ナルモ未ダ調査完了セス。

木崎求雄主計大佐(召集)

小発は小発動艇

歩兵第十九旅団長 草場辰巳 20期

駐支武官 原田熊吉 22期

佐方繁木 32期

16D参謀長 歩兵大佐 中沢三夫 24期

一課参謀 航空兵中佐 北島熊男 29期

海軍少将 近藤英次郎 海兵 36